

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	神谷 訓康 准教授
開 講 期 間	前期 (4月～5月)	開講曜日・時間	木曜 3限 (13:10～14:40)
履 修 条 件		募 集 人 員	10名以内
教 室	未定	連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	<p>人間集団を対象とする公衆衛生学は、臨床での個人を対象とする医療とは異なる方法論が必要です。疫学、統計学、保健統計、環境保健、ヘルスプロモーションなど、多くの関連分野の知識と理解が必要になります。本科目では、これらの学問領域の関連を理解し、公衆衛生活動の実践に応用できることを目的とします。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①公衆衛生学の実践に必要な方法論や健康指標などについて理解し、説明できる</p> <p>②健康を取り巻く様々な環境と健康傷害について理解し、説明できる</p> <p>③公衆衛生活動に必要な知識を理解し、その活動について説明できる</p>		
授 業 概 要	<p>公衆衛生学は社会的存在である個人や人間集団が健康であるようにするための科学的技術や方法論を提供する総合的な応用科学である。人々が健康で快適な生活を送るためには、健康を害する問題が、何を原因として起こっているのかを認識し、それによって受ける人体への影響を除去する方法を考え、健康の保持増進を図るための方策を学ぶ。</p>		
授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習 (準 備 学 習 含 む)	<p>事前学修：講義前に Moodle にアップロードする資料に目を通し、概要を理解しておく。</p> <p>事後学修：授業をまとめ、その内容を理解する。</p>		
授 業 計 画	1	衛生学・公衆衛生学序論、疾病予防と健康管理	
	2	保健統計	
	3	主な疾病の予防、疫学	
	4	環境保健	
	5	産業保健	
	6	保健医療福祉の制度と法規、地域保健と保健行政	
	7	国際保健医療	
評 価 方 法	各授業の課題の提出状況 (20%)、学期末試験 (80%)		
教 科 書	特に指定しない		
参 考 図 書	<p>FACTFULNESS10 の思い込みを乗り越え、データをもとに世界を正しく見る習慣、ハンスロスリング・オーラロスリング・アンナロスリングロンランド 著、日経 BP、2019</p> <p>人口戦略法案、山崎史郎 著、日本経済新聞出版、2021</p> <p>公衆衛生がみえる 2024-2025、</p> <p>医療情報科学研究所編集、メディックメディア、2024</p>		
特 記 事 項	<p>公衆衛生学は臨床看護と異なる“見方、考え方”があることが特徴ですが、臨床での活躍を目指す学生にとっても公衆衛生的な見方、考え方は将来必ず役に立ちます。用語等を覚えることに終始せず、社会に対する医学・医療の関わりや役割を考え、見識を広げようという姿勢で受講してください。</p> <p>オフィスアワー：事前にメールで予約を取ってください。</p>		